

平成18年4月7日

各位

上場会社名 ヤマトインターナショナル株式会社  
代表者名 取締役社長 盤 若 智 基  
(コード番号 8127 大証第一部)  
本社所在地 大阪市中央区博労町二丁目3番9号  
問合せ先 責任者役職名 取締役経営企画室長  
氏 名 高 橋 俊 輔  
TEL(06)6267-7382

平成18年11月期(第60期)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年1月13日の決算発表時に公表した平成18年11月期(平成17年12月1日~平成18年11月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 18年11月期中間業績予想数値の修正(平成17年12月1日~平成18年5月31日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(金額の単位:百万円)

|                  | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A)       | 11,250 | 1,180 | 670   |
| 今回修正予想 (B)       | 11,750 | 1,310 | 720   |
| 増減額 (B-A)        | 500    | 130   | 50    |
| 増減率 (%)          | 4.4    | 11.0  | 7.5   |
| (ご参考)            |        |       |       |
| 前期実績(平成17年5月中間期) | 10,694 | 1,150 | 655   |

(2) 単独業績予想数値の修正

(金額の単位:百万円)

|                  | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A)       | 11,250 | 1,160 | 670   |
| 今回修正予想 (B)       | 11,750 | 1,280 | 710   |
| 増減額 (B-A)        | 500    | 120   | 40    |
| 増減率 (%)          | 4.4    | 10.3  | 6.0   |
| (ご参考)            |        |       |       |
| 前期実績(平成17年5月中間期) | 10,694 | 1,124 | 644   |

2. 18年11月期通期業績予想数値の修正（平成17年12月1日～平成18年11月30日）

（1）連結業績予想数値の修正

（金額の単位：百万円）

|                 | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|-----------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想（A）       | 22,700 | 2,320 | 1,310 |
| 今回修正予想（B）       | 23,200 | 2,400 | 1,320 |
| 増減額（B - A）      | 500    | 80    | 10    |
| 増減率（％）          | 2.2    | 3.4   | 0.8   |
| （ご参考）           |        |       |       |
| 前期実績（平成17年11月期） | 21,764 | 2,247 | 1,265 |

（2）単独業績予想数値の修正

（金額の単位：百万円）

|                 | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|-----------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想（A）       | 22,700 | 2,300 | 1,300 |
| 今回修正予想（B）       | 23,200 | 2,370 | 1,310 |
| 増減額（B - A）      | 500    | 70    | 10    |
| 増減率（％）          | 2.2    | 3.0   | 0.8   |
| （ご参考）           |        |       |       |
| 前期実績（平成17年11月期） | 21,698 | 2,194 | 1,235 |

3. 業績予想の修正の理由

当第1四半期の単独業績は、「クロコダイル」「エーグル」等の基幹ブランドを中心に自主管理型売場と商品企画の充実に努めてまいりましたが、寒波等の天候要因も業績に好影響を及ぼし、売上高は6,135百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益857百万円（前年同期比75.6%増）、経常利益863百万円（前年同期比80.2%増）、四半期純利益496百万円（前年同期比77.2%増）となり、当初の計画を上回ることとなりました。従いまして、当第1四半期の業績を勘案し、宣伝・広告費、建物の修繕費等の販売費及び一般管理費を当初計画よりも増額するとともに、中間期及び通期の業績見通しを修正いたしました。

なお、連結業績の予想及び通期の業績予想は、連結財務諸表提出会社（当社）の中間期の業績予想修正に伴い修正するものであります。

以 上